

ビル・ゲイツ：エプステーンの「ロリータ急行」に乗った理由を黙秘

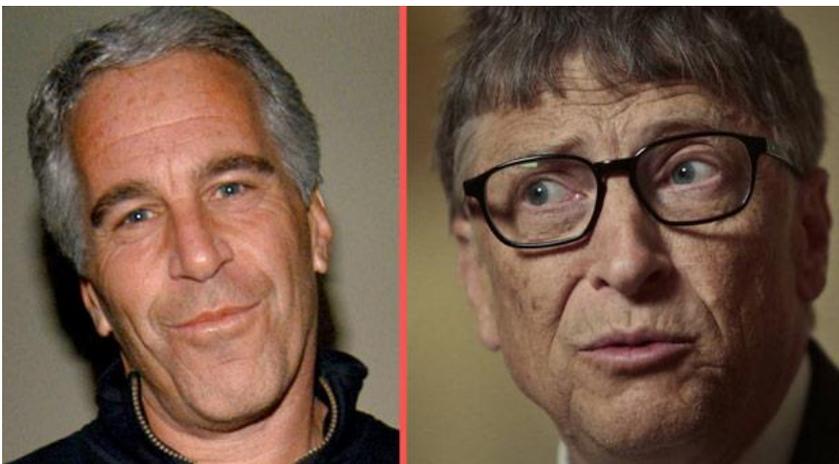
マイクロソフト創始者が、有罪ペド犯の釈放後、彼とジェット機で旅行

【訳者注】ビル・ゲイツの本当の事情も心境も、私にはわからない。彼が悪人グローバルリストの仲間に入ったのは、強要されてか、それとも、こうなるのはわかっている、自ら望んで入ったのか？ しかし、ここに書かれている、記者の質問に無言を貫く態度から見ると、今彼は、想像を絶する苦しい心境に追い込まれているのはなだろうか？ もしこれが、誰も逃れることのできない、彼らの罠だったとすれば、気の毒でもある。「あらゆる隠し事ができなくなる」という、この時代の明らかな趨勢が見えなかったとすれば、馬鹿でもある。

常時、彼の活動で特に目立ったのは、人口削減の宣伝であった。これも彼が自発的にやったとは思えない。フリーに考える人で、今、人口削減が急務だなどと考える人はいないだろう。ビル・ゲイツだけではない。この悪の権力につながる富裕な一連の人々は、何が楽しくて生きているのだろうか？ 人生を充実させるということが、魂を充実させることでなかったら、何のために生きているのか？ あらゆる欲望を満足させながら、心に大きな穴があくという体験をするように、今、人々は招かれている。

Jay Greenberg, @NeonNettle

August 21, 2019



ビル・ゲイツが、あの有罪犯のペドファイルが牢獄から釈放された後、ジェフの自家専用機 Lolita Express に乗って、エプステーンと共に飛んだ。

マイクロソフト創設者のビル・ゲイツは、山のように集まる質問への応答を避け続けている。これは、有罪とされたペドファイル、ジェフリー・エプステーンが、未成年者に性的暴行をして投獄され、釈放された後、ビル・ゲイツが、ジェフの自家用ジェット機「ロリータ・エクスプレス」に乗って、彼と一緒に飛んだ事実をめぐるものである。

ゲイツは、この悪名高い飛行機にエプステーンと乗っていたという、爆弾的暴露のあった一週間、顔を見せず潜んでいたが、やがて彼の名前が、航空日誌にあるのが判明した。

被害者たちの主張によると、この飛行機にはベッドがしつらえてあり、エプステーンや彼の顧客が、幼い女の子を暴行するのに用いられたという。

ゲイツとの関係は、エプステーンが、今月初め、子供性取引の罪で裁判を待っている間に、彼の独房で死んで見つかって以来、現れてきた多くの発見の一つである。

フライト日誌によると、この世界第2位の富豪ゲイツは、2013年に、エプステーンの「ロリータ急行」で飛んだ当時、マイクロソフト社の会長をやっていた。この飛行は、エプステーンが、18歳以下の未成年者を、性行為に誘惑した罪で投獄されてから、4年後のことだった。

Date	Aircraft Make and Model	Aircraft Identification Mark	Points of Departure & Arrival		Miles Flown	Flight No.	Remarks, Procedures, Maneuvers, Endorsements	Number of Landings	Aircraft Category	
			From	To					Acft	Class
2013 Feb 7	B-727-312	N908JE	PBI	BQK		507		1/1	1	1
13	G-1159A	SPHUKAK	DFW	DFW			PECKY GEGANGS - C-STRUCKA 116-0704 BANK OF AMERICA 116-0704		2	0
14	"	"	"	"				3/3	2	0
16	G-1159B	N909JE	TEB	PBI		2245		1/1	3	0
18	"	"	PBI	TEB		2244		LV	2	0
22	"	"	TEB	ABQ		2247		LV	1	4
24	"	"	ABQ	LGB		2248		LV	1	7
26	"	"	LGB	TEB		2249		LV	4	8
Mar 1	"	"	TEB	PBI		2250	BILL GATES	LV	2	5

フライト日誌は、ビル・ゲイツが、エプステーンの「ロリータ急行」自家用ジェット機で、2013年に飛行したことを示している

デイリー・メールによれば、フライト・レコードは、ゲイツがエプステーンと共に、2013年3月1日、ニュージャージーのTeterboro空港から、パームビーチへ飛んだことを示している。これは、パイロットのLarry Viskoskiが、乗客の名を記録した、その年のわずかの例の一つだった。ゲイツの代表者は、コメントを求める人々に応えていない。ただ、主張したのは、このかつて世界で最も富豪だった人は、エプステーンとの、いかなる金融的また慈善的なつながりも、持ったことがないということだった。

ゲイツ夫妻とは、メリнда・ゲイツとその夫婦の基金が、世界中の若い女性のためにやっている仕事を考えれば、奇妙な夫妻である。

しかも、この2人は、以前に一緒に時を過ごしたことがあったと言われ、特に注目すべきは、年中行事である Edge Dinner であり、ここでは毎年、世界中の億万長者を歓迎して、彼らがやっている数学や科学やハイテクの進歩について討論をさせている。

実は、2013年のディナーは、彼らがフロリダへ飛ぶ2日前に行われたが、2人ともその年のイベントには、写真で見ると出席していない。

エプステーンは、自分がしばらく前から、ゲイツの財政アドバイザーをやっていたと主張したが、この主張は後に、マイクロソフト設立者の代表者によって否定された。

ドナルド・トランプ大統領記者団に話す：——ビル・クリントンが、ジェフリー・エプステーンの〈ペドフィリア島〉を訪れたことがあるか否かが、絶対的に重要な問題だ。」
——NeonNettle, August 14, 2019

ビル・ゲイツが、エプステーンの飛行機に飛び乗った、唯一の有名人だと言っているのではない。この連続ペド犯は、また、有名なニュース報道者ウォルター・クロンカイト、建築家ピーター・マリノ、それにジョン・ロバーツと同定される乗客をも歓待している。

ロバーツは飛行記録によると、少なくとも2回、エプステーンと一緒に飛んでいる——2010年3月22日からと、2011年2月10日。2010年には、ロバーツを乗せた飛行機は、パームビーチからオーランドへ、そして翌年は、パームビーチからテターボロまで。これは、すでに述べた有名な客、ビル・クリントン、ナオミ・キャンベル、ケヴン・スペイシー、クリス・タッカー、それにアンドルー王子のような人々への、追加である。

ジェフリーの2人の「性奴隷」は、アンドルー王子と性行為をしたと主張しており、そのうち一人は、当時、未成年者だった。



ビル・クリントンまた、ジェフリーの「ロリータ急行」自家用ジェットで、数多くの飛行を経験している

バージニア・ロバーツ—エプスティーン夫人とされるマダム Ghislaine Maxwell から名誉棄損で訴えられた女性—は、彼女が、アンドルー王子とマックスウェルが、後者のロンドンの家にいる写真を、訴訟文書として提出している。

彼女は、この3人の写真が撮られたとき17歳だった。

この文書は今年早く、第二巡回連邦裁判所が、これまで封をされていた200頁に及ぶ訴訟書類を公開する決定をした直後に、公表された。

これらの文書は、ロバーツが、エプスティーンとマックスウェルの「性奴隷」だった3年間のことを、非常に詳細に明らかにしている。

「中の一人であるミズ Giuffre が取引された相手は、アンドルー王子で、それは被告自身のロンドンの自宅で行われ取引だった」と、訴状は言っており、それは、マックスウェルの弁護士からの棄却申し立てに、反論するものだった。

「飛行記録があり、ミズ・ジューファーが、エプスティーンの自家用機で、被告やエプスティーンと一緒にロンドンへ飛んだ証拠が残されている。それに、ミズ・ジューファー、

被告、および王子の写真が撮られたが、被告は一言も、その写真を撮ることや、17歳の少女が海外から連れられてきたことの、法的な、理屈の通る説明をしなかった。」

2010年に撮られた新しいビデオが現れ、英王子アンドルーが、ジェフリー・エプステインのニューヨークのマンション（あだ名は“恐怖の家”）に調査官や犠牲者と言われる人々と、一緒にに見つかっている——NeonNettle, August 19, 2019

別の女性 Johanna Sjoberg は、アンドルー王子が、彼女とロバーツが2001年、エプステインの住宅にいたとき、不埒な行為をしたと主張した。

当時21歳だった Sjoberg は、その事件の大勢の目撃者がいたと証言する。

——中略——

新たに開封した法廷文書によれば、有罪となったペドファイル、ジェフリー・エプステインは、彼の誕生日の〈贈り物〉として、3人の12歳の少女を、性的な対象として与えられた——NeonNettle, August 20, 2019

アンドルー王子は、前妻のセアラ・ファーガソンとともに、自家用ジェット機でスペインへ逃亡した。これは、最近亡くなった彼の友人ジェフリー・エプステインに関わる、最近ますます高まる子供セックス取引事件の、熱を避けるためである
——NeonNettle, August 15, 2019

——以上